

平成27年9月29日



かなぎわ

10月号 No.6

横浜市金沢区町屋町26-26 電話 781-2401

グローバルな視点を

学校長 高木 篤子

“Good Morning!”

外国語活動のAET（アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）は週2回、国際理解教室のIUI（インターナショナル・アンダースタンディング・インストラクター）は週1回、子どもたちの授業を行うために出勤します。職員室でもっと会話をしたいと思いつつ、AETには単語を調べながら、身振り手振りを交えて伝えていきます。それでも、AETは笑顔で頷きながら“OK!”と気持ちよく答えてくれます。

外国語活動の取組として、本校では、10月24日のオープンスクールの折に、市教育委員会の事業である「小学校英語村」を各学年1単位時間ずつ実施します。授業では、次のような題材でゲームや音楽などを楽しみながら、児童が4名のAETと英語で会話をする活動を行います。

1・2年「ワールドミュージックダンス」
3～6年「国旗パズル」「ロボット遊び」「動物逃亡チャレンジ」

この機会に、普段あまり見ていただけない外国語活動の時間をご覧いただければ幸いです。

また、横浜市の姉妹都市であるサンディエゴ市の学校との交流で、昨年10月と、今年7月にバーナード アジア パシフィック ランゲージ アカデミー校の校長先生が来校されました。11月には、教員の海外派遣を予定しています。機会をとらえた学習との関連から、児童が互いの文化を紹介し合う活動を通して、他国のことを知って世界の国々に興味をもつだけでなく、自国の伝統文化などのよさも再認識することを期待しています。

横浜市では、市長が策定した「横浜市教育大綱」（平成27年9月）の基本理念の中の一つに、「世界で活躍できるためのグローバルな視点」を掲げ、将来の姿として「国際社会の中で、バランス感覚を持ちつつ、自ら挑戦する気概を持つ」「横浜の歴史や伝統文化に対する理解を深め、様々な国の人々と理解し合い協働できる」姿を挙げています。今後の教育の流れにおいて、より一層グローバルな視点が重視されています。

グローバル化に向けて、まずはコミュニケーションを大切にしたいと思えます。お互いに「理解したい」「伝えたい」という気持ちを持ち、視野を、世界を広げていくことが求められます。

